

SHIRO SHOP RELEASE

SHIRO K11 Musea NEW OPEN

2026年5月1日(金) 新規オープン

5月1日(金)より、K11 MUSEAのB1Fに香港初出店。
ゼロブレンダーラボと香港限定の香り「花茶」のオードパルファンが登場。



香港の歴史背景にリスペクトし

竹とブリキを資材にしたお店でお客様をお迎えします。

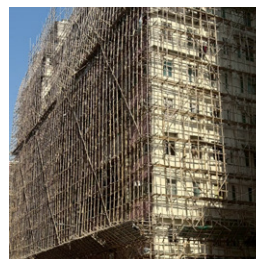
SHIROは2026年5月1日(金)に香港にあるアート、文化、商業が融合するショッピングモールK11 MUSEAのB1Fに「SHIRO K11 Musea」をオープンします。このお店では、ラボをイメージした「ゼロブレンダーラボ」や香港限定のオードパルファン「花茶」が登場します。

香港はEast meets Westと言われるように、東洋と西洋の文化が溶け合い、絶えず新しいエネルギーを放出する街には歴史背景が多く残されています。例えば、100年以上の英国統治を経て、元来の伝統的な文化と西洋の文化が混ざり合い、独自のハイブリッド文化が形成されました。また、香港の人々の向上心が密集した高層ビルをつくり、キラキラとした圧倒的なエネルギーを感じる街から私たちがフィールドワークによってお店づくりに活かしたいと思った資材は竹とブリキでした。

香港の街並みに溶け込む「竹の足場(搭棚)」は、漢時代に京劇の移動式舞台を組むために生まれた技法で、2014年には香港の無形文化遺産にも登録されている生きた文化であり、職人の手仕事によるものです。高温多湿で雨の多い気候にある香港では、軽くて錆びず密集した街に柔軟に対応できる竹が建築現場に欠かせません。また、古い集合住宅「唐楼(トンラウ)」の玄関に並ぶブリキ製の郵便ポストは、錆びにくく丈夫な素材として重宝され、職人が家々毎のサイズに合わせて複数をつなぎ合わせたり、サイズを微調整したりと、一つひとつ手作業で仕立てられたといえます。また、現代において若いアーティストがこの素材で新たなプロダクトデザインを考えていることも印象的なエピソードでした。

香港の日常に根付いたこれら2つの資材に魅了され、お店づくりには数回足場に使用され、その役目を終えると廃棄されてしまう竹を再生させたいと思いました。幾度か使用された竹は、歴史を刻んだからか色の変化や傷さえも美しく見えます。それらを什器の側面に縦に並べた様子は香港の歴史を物語り、ブリキはレジカウンターやストックドアへ使用しました。さらにSHIROはブランドのすべてを開いているように、パブリック通路に面したストックは今回開くことにしました。また、通路にあるブランドロゴはレタリングのベースラインをあえて残し、手書きでペイントします。

香港での1号店は、この街が積み重ねてきた歴史と文化に深く敬意を込めながら、日常に寄り添う資材たちを唯一無二の存在へと生まれ変わらせた特別な場所です。初めて香港の地に立つこの店で、皆様をお迎えできることを、心より楽しみにしています。



竹材で組まれた足場の様子



パブリック通路のブランドロゴ

SHIRO

MAKING ORIGINAL FRAGRANCE

あなたの手で、廃棄されるはずだった香料から新たなストーリーを描く。

香港限定「ゼロブレンダーラボ」、ものづくり体験がここから始まる。

私たちは2024年から廃棄物ゼロを目指し、ものづくりとお店づくりに取り組んでいます。香港のお店では、廃棄されるはずだった香料を使って、北海道砂川市にある「みんなの工場」の研究開発室をイメージした空間で、まるで調香師のようにフレグランスの調合体験ができる、「ゼロブレンダーラボ」が登場します。

香りづくりの工程では、香料会社さんから数多の試作品が届きます。そこから香りの強さやノートの微調整を幾度も繰り返し、理想の香りを模索し続けます。しかし、妥協のない追求の裏側には、製品化に至らなかった多くの試作品が生まれてしまうという側面がありました。製品をつくるほどに増え続ける試作品。この課題と向き合い、本来廃棄されてしまう香料に新たな命を宿すことができないかと考え抜いた先に、私たちは「ゼロブレンダーラボ」というアイデアに辿り着きます。廃棄されるはずだった香料は、世界にふたつとない貴重なものです。決して表舞台に立つことはありませんでしたが、だからこそ新しい物語を与え、次の誰かへと手渡す「ペイフォワード」の精神を紡ぎたい――。

ご用意したのは、そもそも製品化されなかった香料と製品化に至るまで繰り返しつくられた試作香料の2タイプ。これらは開発中に生まれた香料なので「プロトサボン」や「プロトホワイトリリー」と名付けました。ベースとなるアルコールにはゆずとヨモギの蒸留水、そしてフローラルが香る3タイプを揃えました。自然素材の蒸留水は、素材本来のやさしさやぬくもりを感じてほしいという想いからです。また、香りの強さはしっかりとふんわりをお好みに合わせて選べます。「ゼロブレンダーラボ」には研究開発室さながらに香料会社さんから届くボトルを設置しました。「みんなの工場」の日常をそのまま投影し、容器には試作品に仮の名を付けるような、手書きのラベルをイメージしました。

調香師のように、あなたの手で香料をブレンドし、唯一無二の「フレグランスミスト」をつくりませんか？廃棄されるはずだったものにあなただけの新たなストーリーを描く。こんなステキな体験ができるのは「ゼロブレンダーラボ」だけです。気持ちを高めたいとき、ほっと一息つきたいとき、心を整えたいとき――。香りをまとうシーンを想像しながら、この調香体験がものづくりを楽しむ原体験になればと願っています。

「ゼロブレンダーラボ」のフレグランスミスト 50mL 300HKD



「ゼロブレンダーラボ」のフレグランスミスト

SHIRO

SHIRO LIMITED ITEM for Hong Kong

“花茶”はいくつものお皿を並べた円卓を大切な誰かと囲むときのお茶でもあり、
身体を労いながら生活のリズムを刻むため、生活に欠かせない飲み物。
“花茶”をイメージした限定の香りを香港の皆様へお届けします。



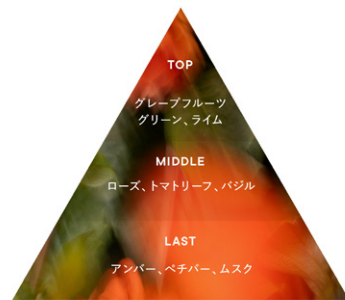
花茶 オードパルファン 40mL 225HKD

SHIROのフレグランスシリーズは、日常に寄り添う香りを提案しています。香港初出店にあたりこの地域限定の香りも、香港の皆様に寄り添える香りを提案したいという想いから、“花茶”のオードパルファンが登場します。

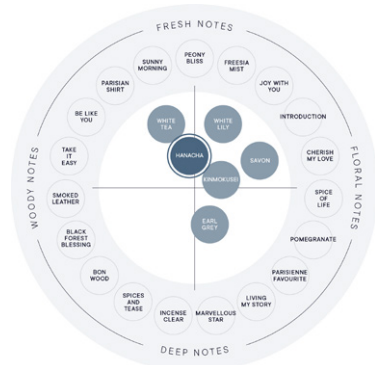
花茶は香港の食生活で欠かせない飲み物で、花の香りや花そのものを目で楽しむお茶として、香港の皆様の休息時間に寄り添ってきました。お湯の中でゆっくりと花が開いていくのを眺めながら、その上品な香りがふわっと広がる花茶。時間の流れが早い香港の街で、この香りに触れると「休息している」と感じられ、気分をリフレッシュさせてくれます。また、脂の多い食事のときにはジャスミン茶、目が疲れたときには菊茶、リラックスしたいときにはバラ茶など、香港では体調を整えるために花茶を飲む習慣があり、人々の毎日の生活に溶け込んでいます。

このように香港の茶文化からイメージした“花茶”のトップには、みずみずしい柑橘が爽やかに広がり、ミドルにはバジルなどのハーバルグリーンとナチュラルなローズが溶け合い、ラストはムスクのやさしい温もりが全体を包み込みます。高温多湿な香港の気候になじむ、リフレッシュ感に満ちた爽やかな香りです。

香港には、「食べることは福につながり幸せである」という意味の「食得係福(セツダツハイフォク)」という言葉があります。円卓を囲みワイワイと楽しく会話しながらおいしい料理を味わうことが至福の時間となり、次の日の活力にできました。飾らないけれど、そこにあるだけで安心するような、リラックスできる感覚をもたらしてくれる“花茶”。この香りが香港の皆様の日常に溶け込み、穏やかな安らぎと活力となるエネルギーになりますように。



みずみずしいフルーツとハーバルグリーンを主軸に
ローズが溶け合うフルーティグリーンフローラルの香り

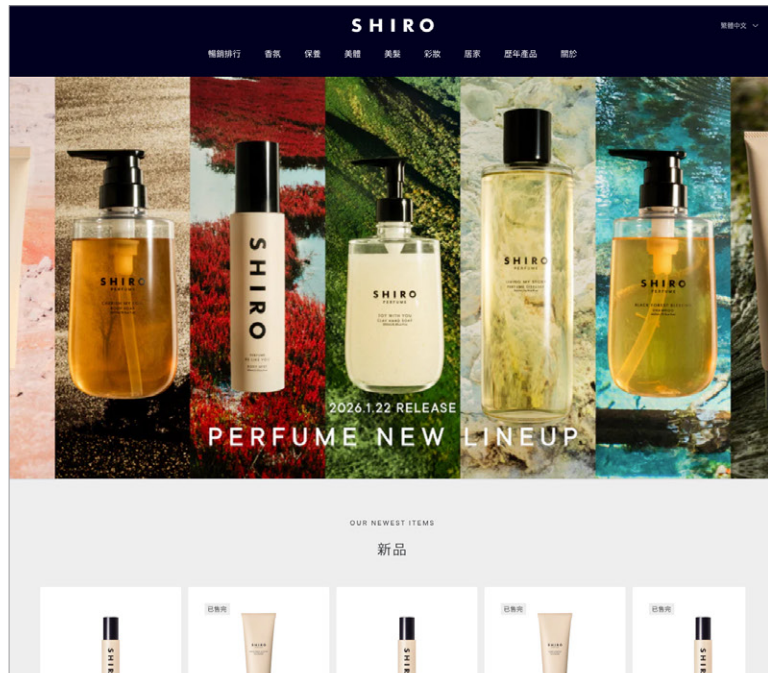


「アールグレイ」よりもフレッシュで「サボン」よりもウッディな香り。
フローラル同士が調和するので、「ホワイトリリー」の重ね付けもおすすです。

SHIRO

LAUNCH of SHIRO ONLINE STORE in Hong Kong

「SHIRO K11 Musea」のオープンに先駆け
4月27日(月)から、香港でも公式オンラインストアがスタート。



<https://shiro-shiro.hk/>

「SHIRO K11 Musea」のオープンに先駆け、香港のお客様にリアルでもオンラインでもお買い物を楽しんでいただけるよう2026年4月27日(月)に公式オンラインストアがオープンいたします。

現在、国内28店舗のほか、海外にはロンドンと台湾、韓国に5店舗を構え、国内外33店舗で展開。また、オンラインストアは日本を含めイギリス・アメリカ・台湾・中国・韓国の6か国でお買い物を楽しんでいただいています。ここに、今回新しく香港が加わります。SHIROでは引き続き、世界中の多くのお客様に製品を楽しんでいただくことを目指し、ブランド展開を行ってまいります。

PARTNER

NEW OPEN / SHIRO K11 Musem

設計を担当したDRAWERSの小倉 寛之さんは、空間デザインにおいて美しさや利便性を追求すると同時に“つくる責任”を意識し、未来を考えたプロダクトデザインやクリエイションを行っています。「SHIRO K11 Musem」以外にも、「SHIRO Seongsu」や「SHIRO LOTTE DEPARTMENT STORE MYEONGDONG」、2024年にオープンした北海道長沼町の一棟貸し宿泊施設「MAISON SHIRO」、そしてSHIROの東京オフィスも設計を担当しています。



小倉 寛之

兵庫県小野市出身。京都造形芸術大学(現 / 京都芸術大学)芸術学部環境デザイン学科卒。
cafe co.勤務ののち、2011年インテリアデザイン事務所DRAWERSを設立。循環し、未来につながる創作活動に取り組む。2020年より、クライアントワーク以外の活動をスタート。そして、インテリアデザインを通して、廃材に新たな価値を生み出すプロダクトブランド「wa/ter」の運営も行う。

DRAWERS <https://drawers-design.com/> @tete_drawer
wa/ter <https://water-sup.com/> @water_products_design



「SHIRO K11 Musea」

住 所： B112A, B1, K11 MUSEA, Victoria Dockside, 18 Salisbury Road,
Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong Kong

営業時間： 11:00~21:00

取扱製品： スキンケア・メイクアップ・フレグランス

フロアマップ、営業時間につきましては、K11 MUSEAのホームページをご覧ください。

<https://www.k11musea.com/>

SHIRO

SHIROについて

「自分たちが毎日使いたいものをつくる」というシンプルな想いからスタートしたコスメティックブランド。

自社内に開発から販売まですべての機能を持ち、創業当初からエシカルな信念に基づくものづくりを続けている。

厳しい自然が育んだ素材を国内外から見つけ出し、そのちからを最大限に引き出すスキンケア、メイクアップ、フレグランスアイテムを提案。

日本全国に直営店舗を展開するほか、ロンドンや台湾、韓国に実店舗を構え、米国では自社EC、中国では越境ECでの販売を行う。

製品に使う素材同様、厳選した食材を届ける食のセレクト[SHIRO LIFE]、素材のおいしさを料理で伝えるカフェ[SHIRO CAFE]、

SHIRO が提案する美しさを最大限体感できるサロン[SHIRO BEAUTY]などの業態も展開。

2021年6月から、SHIROの創業地である北海道砂川市にて、工場の移転新設と市全体の活性化を目指すまちづくり

「みんなのすながわプロジェクト」を推進。2023年4月に新工場と付帯施設を含む「みんなの工場」をオープン。

2024年4月、従来の方法とは異なる、森林環境に配慮した“森の都合に合わせた設計建築”を進め、一棟貸しの宿泊施設

「MAISON SHIRO (メゾンシロ)」を北海道長沼町にオープン。ブランド誕生から15周年を迎えた2024年には、ものづくりとお店づくりの

2つにおいて、すべての資源の価値を見つめ直す「SHIRO 15年目の宣言」を表明し、地球の未来のために廃棄物ゼロを目指すことに取り組む。

また、「SHIRO リユースプロジェクト」が始動。社会の新しい標準を創出するため、使用済みガラス容器と衣類を回収する。

2025年4月、韓国・聖水でフィールドワークを行い、歴史的背景をリスペクトしながら、既存の資源に少しのクリエイティブを加えた

お店づくりを実現。

2025年11月、「みんなの工場」の敷地内に 森の恵みと香りを味わう イノベーティブレストラン「MORISHIRO」をオープン。

レストランを開き、北海道の森にある貴重な食材を余すことなく料理。TableCheckにて予約受付中。

会社概要

企業名 : 株式会社シロ

所在地 : 〒107-0061 東京都港区北青山 3-6-7 青山パラシオタワー 8F

設立 : 1989年10月23日

代表取締役 : 福永 敬弘 (ふくなが たかひろ)

事業内容 : 自社ブランド「SHIRO」の企画、開発、製造、販売、
店舗運営 (「SHIRO / 化粧品、雑貨」「SHIRO LIFE / 食物販」「SHIRO CAFE / 飲食」
「SHIRO BEAUTY / サロン」、SHIRO オフィシャルサイト / オンラインストアの運営、通販事業運営、
直営ホテルの運営 (「MAISON SHIRO」「砂川パークホテル」、
レストランの運営 (「MORISHIRO」、北欧インテリア雑貨の輸入、販売代理 (「biotope」)

URL : <https://shiro-shiro.jp>

お問い合わせ先

シロ カスタマーサポート

E-mail: info@shiro-shiro.jp